

日本体育学会第63回大会 体育方法専門領域シンポジウム

日時 2012年8月23日(木) 9:30-12:00

場所 1A-201教室

体育方法専門領域は体育・スポーツの原点を求めて
どのように進化すべきか？葛西 順一¹⁾

【開催趣旨】

これまでの3年間にわたるシンポジウムは、コーチング学を再考し、体育方法学とコーチング学との関係についての議論を深めてまいりました。また、それとともに、実践系の諸学会と体育方法専門領域との構造的な関係や協力体制についての理解を深めてまいりました。

今回のシンポジウムは、これまでの3年間の体育方法専門領域の活動に関するまとめを行い、体育方法学と日本コーチング学会との相互一体化の可能性、体育方法学およびコーチング学に内在する名称問題ならびに日本体育学会の中での体育方法学（コーチング学）の位置づけなどに関して一致した見解を見出したいという意図で企画いたしました。

シンポジストとして、日本コーチング学会会長の村木征人先生に、「体育方法専門分科会とコーチング学会との関係は如何にあるべきか?」、体育方法専門分科会理事長の青山清英先生には、「体育方法学および

コーチング学に関連する名称は統一できるのか?」、体育方法専門領域会長の朝岡正雄先生には、「日本体育学会と体育方法学（コーチング学）の関係は如何にあるべきか?」というテーマでそれぞれお話をお願いしております。

講師の諸先生方は、学問分野で傑出した研究業績をお持ちであるとともに、体育方法専門分科会あるいは日本コーチング学会で長年にわたり研究および学会運営で大きく貢献されております。両組織の協力体制、その統合にむけた可能性を常に模索してきた方々でもございます。

今後に向けて、3先生は大所高所の見地から両組織が進むべきベターな方向性を示唆して下さるものと考え、シンポジストとしては史上最高のキャスティングを構成することができたものと自負しております。

本シンポジウムが、あらゆる参加者にとって有意義なものであることを祈念しております。

1) 早稲田大学

